

肝臓病教室から学ぶ、新しい肝臓学

～肝臓病教室を楽しく続ける～

湘南鎌倉総合病院 肝臓病教室準備委員会

薬剤部:	小澤 康久、東地 智子
栄養学部:	櫻井 聖子
臨床検査部:	松下 賢司、中川 恵美
看護師:	伊藤 雄介
理学療法士:	中出 裕一
診断部:	魚嶋 晴紀、金原 猛、賀古 眞
事務:	柳井 勝代

初めに

慢性肝疾患患者さんは検査の意義、食事内容、病期を理解することで、より良い治療効果が得られ、医師、看護師、薬剤師、栄養士等を含めたチームの連携が不可欠であります。

この連携を行う方法として肝臓病教室は近年普及しているシステムであり、当院でも2012年より導入しました。

当院での肝臓病教室の歴史

2012年6月1日 肝臓病教室準備委員会が発足



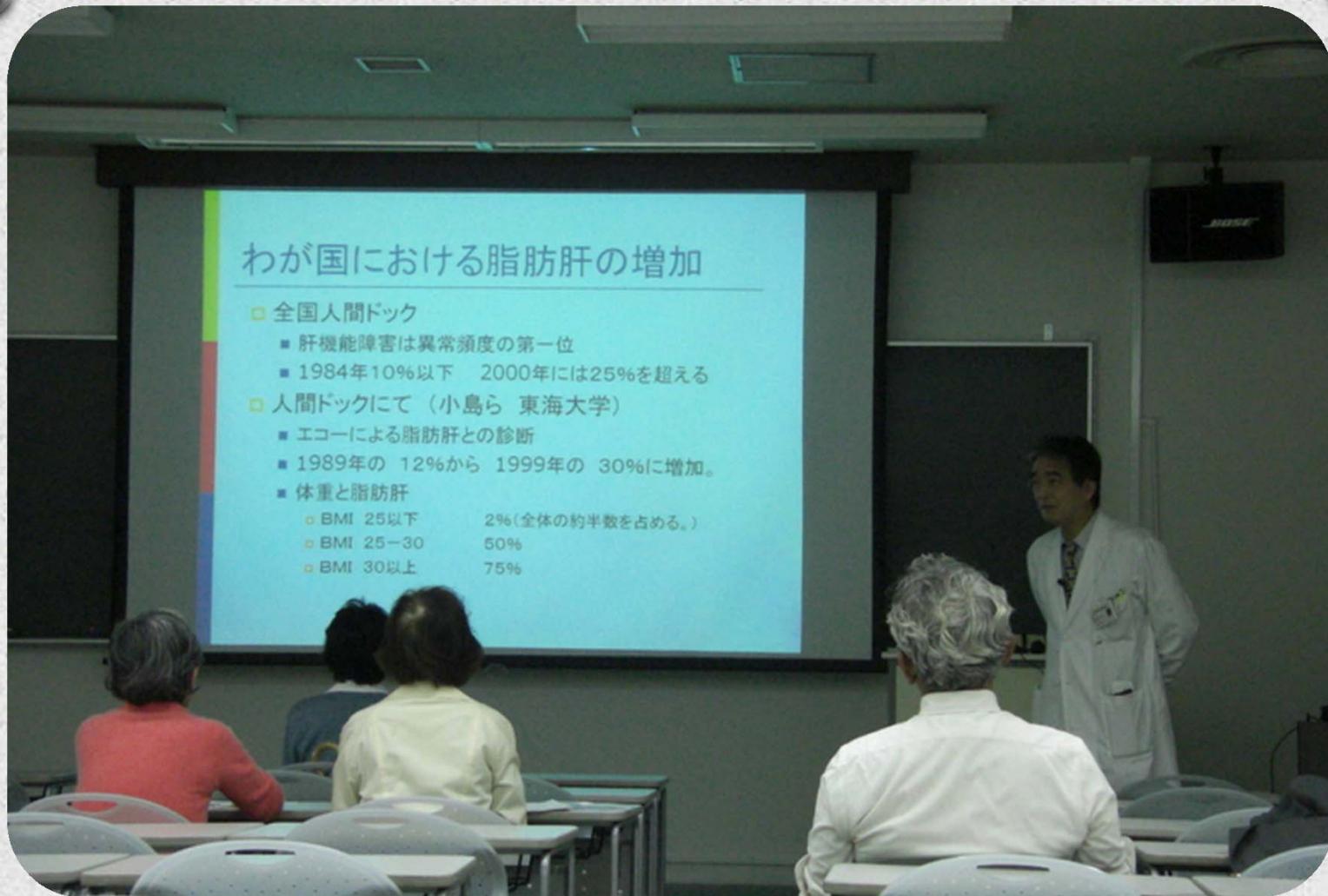
当院での肝臓病教室の歴史

2012年6月1日 肝臓病教室準備委員会が発足

2012年6月30日 慶應義塾大学病院 肝臓病教室を見学

わが国における脂肪肝の増加

- 全国人間ドック
 - 肝機能障害は異常頻度の第一位
 - 1984年10%以下 2000年には25%を超える
- 人間ドックにて（小島ら 東海大学）
 - エコーによる脂肪肝との診断
 - 1989年の 12%から 1999年の 30%に増加。
 - 体重と脂肪肝
 - BMI 25以下 2%（全体の約半数を占める。）
 - BMI 25-30 50%
 - BMI 30以上 75%



当院での肝臓病教室の歴史

2012年6月1日 肝臓病教室準備委員会が発足

2012年6月30日 慶應義塾大学病院 肝臓病教室を見学

2012年7月～ 肝臓病教室準備委員会勉強会

2012年	7月	第1回	肝臓病教室準備委員会	担当	薬剤師
2012年	8月	第2回	肝臓病教室準備委員会	担当	栄養士
2012年	9月	第3回	肝臓病教室準備委員会	担当	医師
2012年	10月	第4回	肝臓病教室準備委員会	担当	医師

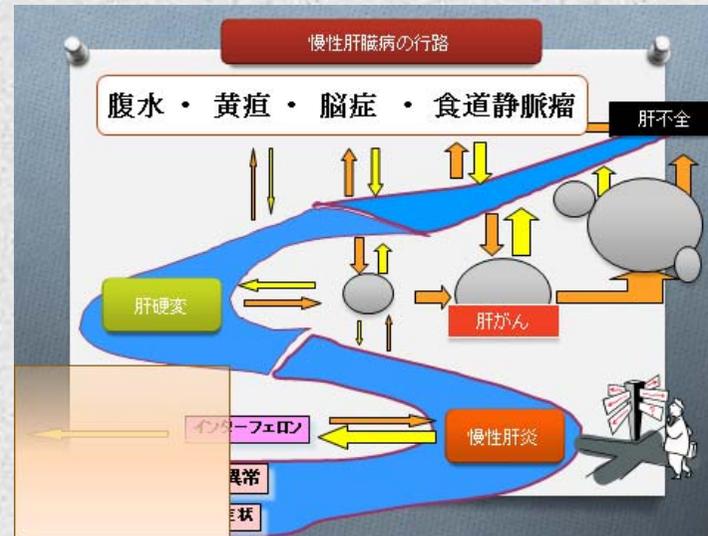
2012年7月～

肝臓病教室準備委員会勉強会

* 肝臓病教室実行委員勉強会資料

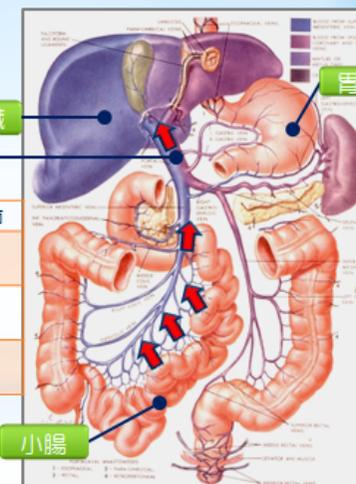
慢性肝炎の経過

湘南鎌倉総合病院 肝胆膵疾患治療センター
魚嶋 晴紀



肝臓の代謝機能

糖	糖分の貯留と放出を調節
たんぱく	アルブミン、 血液の凝固タンパク
脂肪	コレステロール代謝、 脂肪酸の代謝
ビリルビン	壊れた赤血球より ビリルビン合成



当院での肝臓病教室の歴史

2012年6月1日 肝臓病教室準備委員会が発足

2012年6月30日 慶應義塾大学病院 肝臓病教室を見学

2012年7月～ 肝臓病教室準備委員会勉強会

2012年	7月	第1回	肝臓病教室準備委員会	担当	薬剤師
2012年	8月	第2回	肝臓病教室準備委員会	担当	栄養士
2012年	9月	第3回	肝臓病教室準備委員会	担当	医師
2012年	10月	第4回	肝臓病教室準備委員会	担当	医師

2012年11月24日 肝臓病教室の1回目を開催

2012年11月24日

肝臓病教室の1回目を開催

第1回肝臓病教室

慢性肝炎や肝硬変といった肝臓病の患者さんは、高血圧や糖尿病の患者さんと同じように一生病気とつき合っていく必要があります。病気とつきあいながら楽しく生活するには、まず病気を知ることが大切です。この肝臓病教室は肝臓病患者のみならず、ご家族のみなさんにおかりやすく病気を説明するとともに、肝臓病との付き合い方を理解していただくために定期的に開催されます。

肝臓病教室開催日 2012年11月24日

開催時間 午後2時～(1時間予定)

開催場所予定：湘南鎌倉総合病院 会議室

内容

- 1) C型肝炎とインターフェロン 担当：薬剤師 小澤康久
- 2) 肝臓病と食事・日常生活 担当：管理栄養士 高橋聖子
- 3) グループワーク

主催：湘南鎌倉総合病院 肝臓病疾患治療センター 肝臓病教室運営委員会
ご質問・ご連絡先 湘南鎌倉総合病院 事務 鈴木 幸希
TEL 0467-46-1717 (内線 9822)
対応時間：月～金 (9時～17時)

肝臓病教室 ー慢性C型肝炎ー

湘南鎌倉総合病院 肝臓病教室実行委員
薬剤部 小澤康久

C型肝炎治療の実際：三剤併用療法



2013年2月23日

肝臓病教室の2回目を開催

第2回肝臓病教室

慢性肝炎や肝硬変といった肝臓病の患者さんは、高血圧や糖尿病の患者さんと同じように一生病気とつき合っていく必要があります。病気とつきあいながら楽しく生活するには、まず病気を知ることが大切です。この肝臓病教室は肝臓病患者のみならず、ご家族のみなさんにおわかりやすく病気を説明するとともに、肝臓病との付き合い方を理解していただくために定期的に開催されます。

肝臓病教室開催日 2013年2月23日

開催時間 午後2時～3時30分(1時間30分程度)

開催場所予定：湘南鎌倉総合病院 第2会議室

内容

- 1) 慢性肝炎の経路 担当：医師 魚嶋 晴紀
- 2) 肝疾患に対する薬剤投与 担当：薬剤師 宮崎奈緒子
- 3) グループワーク

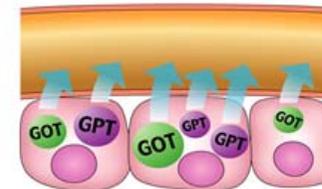
主催：湘南鎌倉総合病院 肝臓病疾患治療センター 肝臓病教室運営委員会
ご質問・ご連絡先 湘南鎌倉総合病院 事務 鈴木 春奈
TEL 0467-46-1717 (内線 9822)
対応時間：月～金 (9時～17時)

肝臓病教室 — 慢性肝炎の経過 —



血液検査 — 肝機能検査 —

- 肝細胞が傷つくと細胞内のGOT, GPTが漏れ出して、血管内に移行する。
- GOT, GPT(特にGPT)は他の臓器にあまり含まれていないため、その血液中の高さは肝障害を反映。
- 細胞膜の障害程度を反映する。



2013年5月25日

肝臓病教室の3回目を開催

第3回肝臓病教室

慢性肝炎や肝硬変といった肝臓病の患者さんは、高血圧や糖尿病の患者さんと同じように一生病気とつき合っていく必要があります。病気とつきあいながら楽しく生活するには、まず病気を知ることが大切です。この肝臓病教室は肝臓病患者のみならず、ご家族のみなさんにわかりやすく病気を説明するとともに、肝臓病との付き合い方を理解していただくために定期的に開催されます。

肝臓病教室開催日 2013年5月25日

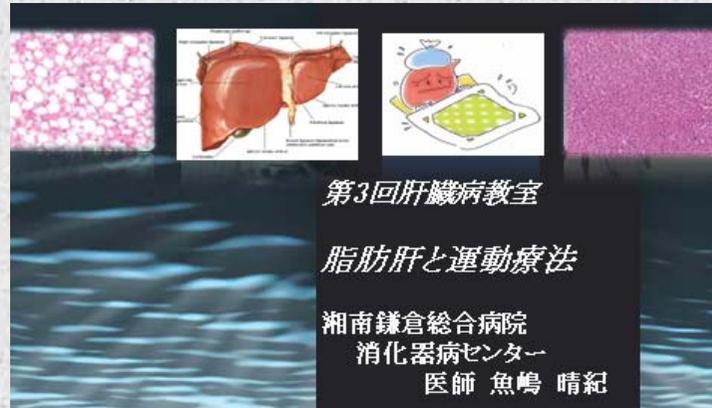
開催時間 午後2時～3時30分（1時間30分程度）

開催場所予定： 湘南鎌倉総合病院 第2会議室

内容

- 1) 慢性肝炎と運動療法 担当：医師 魚嶋 晴紀
- 2) 慢性肝炎と食事療法 担当：薬剤師 宮崎奈緒子
- 3) グループワーク

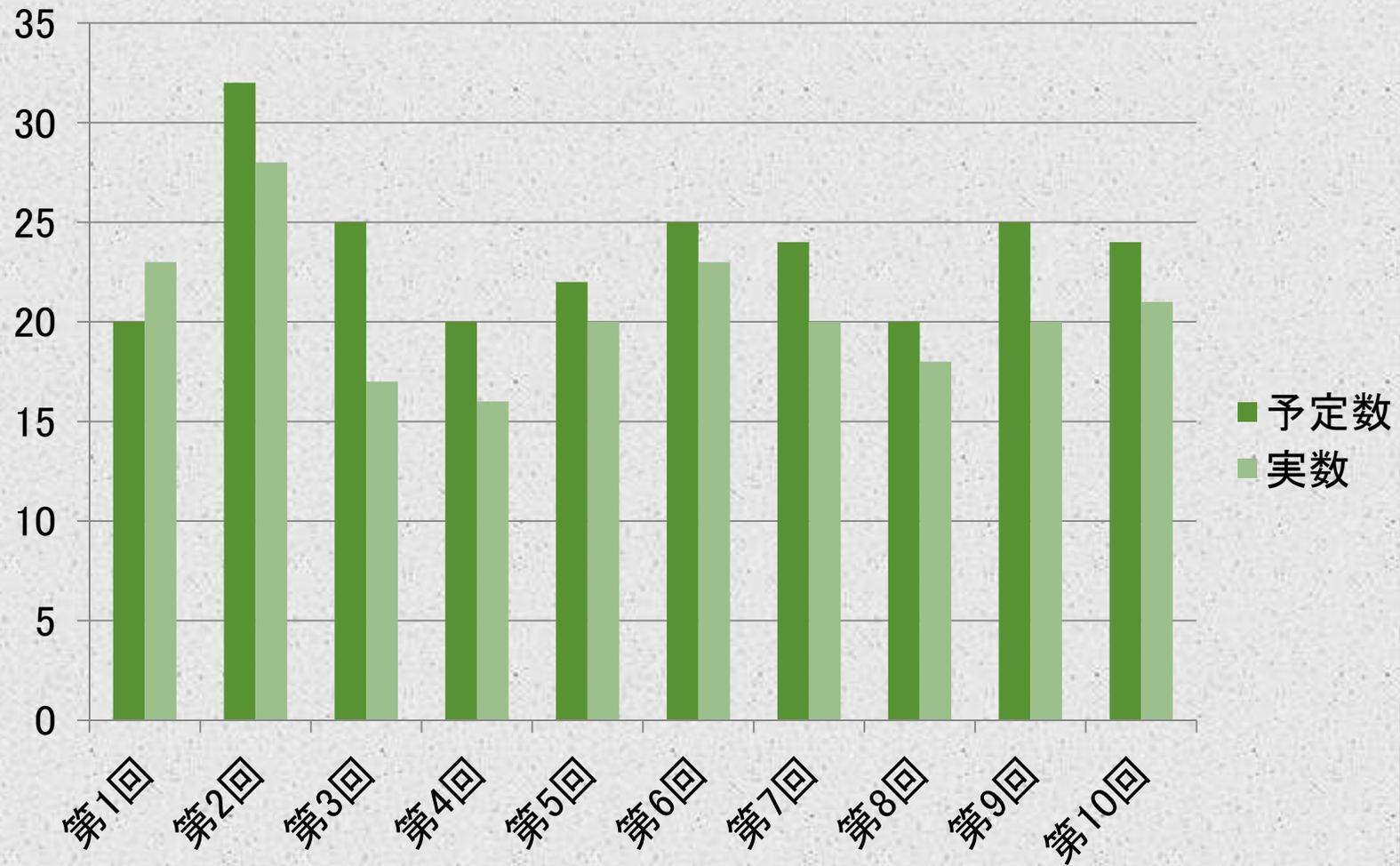
主催：湘南鎌倉総合病院 肝臓病治療センター 肝臓病教室運営委員会
ご質問・ご連絡先 湘南鎌倉総合病院 事務 鈴木 春奈
TEL. 0467-46-1717 (内線 9822)
対応時間：月～金 (9時～17時)



第3回肝臓病教室
脂肪肝と運動療法
湘南鎌倉総合病院
消化器病センター
医師 魚嶋 晴紀



受講者数の推移



肝臓病教室を楽しくつづけるために

医療への興味 と 患者さんの笑顔

医療への
興味

患者さんの
笑顔

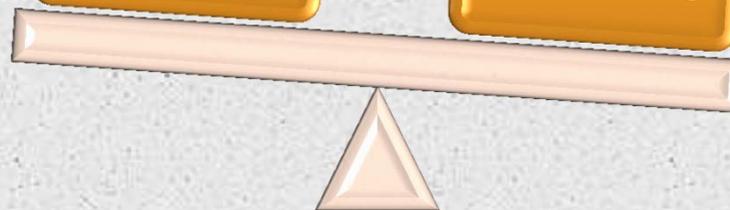
病態

薬剤

簡単

すぐ使える

理解できる



肝臓病教室のあり方

クエスチョンネアー

肝臓病教室の適切な人数)

講義型

VS

対話型

患者さん選択について)

選択性(選出)

VS

勧誘性(ランダム)

発表内容について)

決まった内容

VS

毎回異なる内容

当院の肝臓病教室のあり方

A)患者さんの適切な人数

肝臓病教室の基本内容

前半 : 患者さんへの情報提供

後半 : 患者さん同士のグループワーク

人数が多いことの利点と、欠点は？

利点 : 意見を多くの方が共有できる

欠点 : 発言しづらい。参加されない方もいる。

当院の肝臓病教室のあり方

A)患者さんの適切な人数



当院の肝臓病教室の流れ

- 受診時に医師から当院の肝臓病教室の紹介を受ける。

肝臓病教室に来られたことのない患者に対して紹介している

- 当院にて講義行う。【30分】

講義内容も新しいものを中心に行っている。
「トルバプタン」や「サルコペニア」など

- グループディスカッション
ファシリテーターとして当院のメンバーが一人つく。
【60分】

講義内容から、
紹介する患者を
決める

当院の肝臓病教室のあり方

B) 講義内容

同じ講義



異なった講義

当院の肝臓病教室の特徴

肝臓病教室内容を決定方法
～毎回異なる内容～

肝臓病教室準備委員会で次回内容を相談

内容決定方法

現在のトピックスを中心
例：C型肝炎治療の選択
サルコペニア
肝性腹水とトルバプタン

内容決定方法

患者さんのニーズから
例：薬剤投与の意味
血液検査の見方

当院の肝臓病教室の特徴

肝臓病教室内容を決定方法
～毎回異なる内容～

肝臓病教室準備委員会で次回内容を相談

内容決定方法

現在のトピックスを中心
例：C型肝炎治療の選択
サルコペニア
肝性腹水とトルバプタン

例)
肝臓病教室実行委員での話題
サルコペニアとは何？

⇒肝臓疾患でも話題らしい

当院の肝臓病教室の特徴

肝臓病教室内容を決定方法
～毎回異なる内容～

サルコペニアとは何？

開催3ヶ月前

肝臓病教室準備
委員会で検討

開催3ヶ月前

次回肝臓病教室で
発表決定

開催2ヶ月前

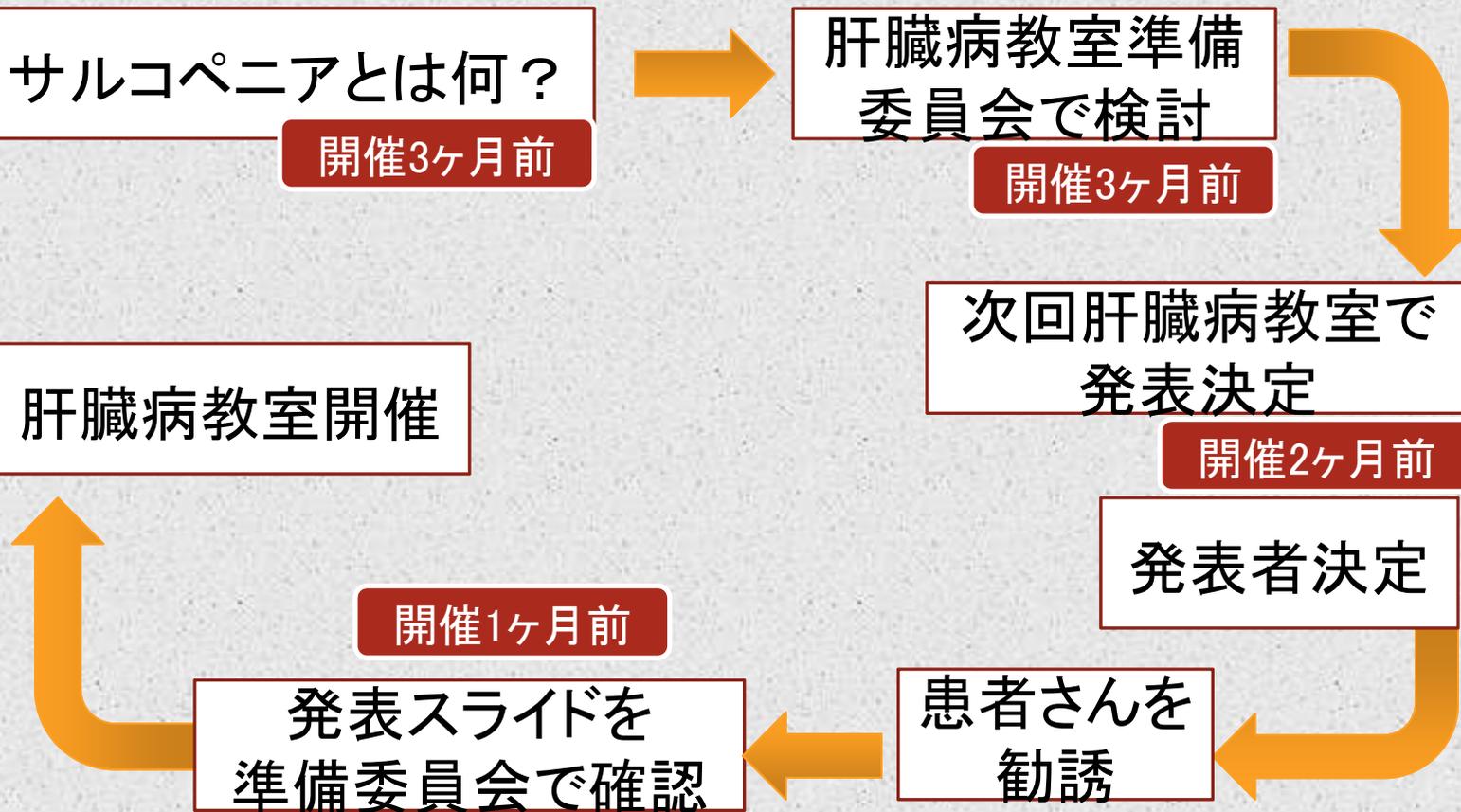
発表者決定

患者さんを
勧誘

発表スライドを
準備委員会で確認

開催1ヶ月前

肝臓病教室開催



当院の肝臓病教室の特徴

肝臓病教室内容を決定方法
～毎回異なる内容～

これまで内容

第1回	C型慢性肝炎治療(テラビック)	慢性肝炎の食事療法
第2回	肝炎進行の経路	肝疾患に対する薬剤投与
第3回	慢性肝炎と運動療法	脂肪肝と栄養指導
第4回	ガイドライン作成のアンケート	
第5回	C型肝炎新しい治療(シメプレビル)	肝硬変新しい治療(サムスカ)
第6回	慢性肝疾患検査の見方	
第7回	慢性肝炎と薬剤	慢性肝炎と食事療法
第8回	慢性肝疾患と日常生活	慢性肝疾患と血液検査
第9回	慢性肝疾患とサルコペニア(運動療法)	慢性肝疾患とサルコペニア(食事療法)

当院の肝臓病教室のあり方

C) 患者選択法

選択制
(選出)

勧誘性
(ランダム)



当院の肝臓病教室の特徴

を行っ

が
ますか？

.....



話が弾むようになるまで時間がかかるので、
肝臓病教室の終了時間が伸びてしまうこともしばしば・・・

当院の肝臓病教室の特徴

- 毎回、異なる講義・新しい話題の講義を行っている。
- 初めての患者が来られる。
- 利点
 - 様々な患者に話を聞いてもらえる。
 - 様々な経験を教えてもらえる。
- 欠点
 - リピーターがいないことから、話が弾むまで時間がかかる。
 - ファシリテーターの教育が不可欠。

当院での肝臓病教室のこれからの課題

2015年4月1日 肝臓病教室準備委員会新チームが発足

- 患者のニーズと肝臓病教室準備委員のニーズを合致
⇒医療従事者の満足で終わらない
- 新しいメンバーの成長
- 肝臓病教室の効果を検定する

今後は・・・

○ 肝臓病教室を通して得た知識と仲間・
患者から得た経験をもとに、今後は研究も・・・

○ 2014年 JSPEN
「検査前食の有用性」



○ 2015年 JSPEN
「肝硬変における
新たな飲水制限」



Innovation is Everywhere



ご清聴、ありがとうございました

Thank you for your kind attention